

# 中山道下向の宮姫たち一覽表 (大湫宿)

平成十四年(二〇〇二)八月 渡辺俊典 調

鷹司家姫 (撰政関白・鷹司信房の妹姫)

三代將軍家光へ 詳細不明

浅 姫 (伏見宮貞清親王王女)

四代將軍家綱へ 詳細不明

紀 姫 (撰政関白・鷹司房輔の妹姫)

五代將軍綱吉へ 寛文四年(二六六四)九月下向 詳細不明

新 姫 (大納言・広幡忠幸の姫)

尾州三代徳川綱誠へ 寛文七年(二六六七)九月下向 一二才

近衛家姫 (撰政関白・近衛基熙の姫)

六代將軍家宣へ 詳細不明

輔 姫 (撰政関白・九条輔実の姫)

尾州四代吉通へ 元禄十五年(二七〇二)三月二十六日大井宿泊り 十二才

八十ノ宮 (靈元天皇々女吉子内親王)

七代將軍家継へ 享保元年(二七二六) 家継夭折し降嫁中止

安己姫 (撰政関白・近衛家熙の姫)

尾州六代継友へ 享保三年(二七一八)下向 詳細不明

比ノ宮 (伏見宮邦永親王々女培子)

九代將軍家重へ 享保十六年(二七三二)四月二十六日大湫宿泊り

大湫宿継立人馬千五〇〇人・二〇〇疋 無事継立終了後五・六月より長雨・諸物凶作

一条家姫 (撰政関白・一条家の姫)

水戸徳川家へ 元文四年(二七三九)下向 詳細不明

真ノ宮 (伏見宮文仁親王々女)

八代將軍吉宗へ 元文六年(二七四二)三月二十一日大湫宿泊り

乗物一〇〇挺 長持一三六棒 大湫宿継立人馬千五〇〇人・二五〇疋 夜着等七〇〇人前触当

五十ノ宮 (開院宮直仁親王々女倫子)

一〇代將軍家治へ 寛延二年(二七四九)三月九日大湫宿泊り

中津川・落合と五宿組合継立人属二千五〇〇人・一五〇疋道中御一行七五〇人 (史料多数)

好 姫 (准后近衛家久の姫)

尾州九代宗睦へ 宝暦二年(二七五二)四月下向 転陵院

寿賀ノ宮 (皇極宮公仁親王々女)

一橋徳川治斉へ 宝暦五年(二七五五)九月十八日細久手宿泊り

載 姫 (紀州徳川家姫)

伏見宮家へ 宝暦九年(二七五九)五月十一日大湫宿泊り

愛 姫 (撰政関白・一条家の姫)

紀州徳川家へ 同 九年( ) 七月二十日大湫宿泊り

田鶴ノ宮 (伏見宮王女)

水戸徳川家へ 同 十二年(二七六二)四月二十六日大湫宿泊り

大湫宿継立人馬千五〇〇人・一〇〇疋(山田村へ七九人・五疋当る)

一条家姫 (撰政関白・一条家の姫)

水戸徳川家へ 明和六年(二七六九)四月二日大湫宿泊り

大湫宿継立人馬千六〇〇人・二三五疋(山田村へ五八八人へ八二人・七疋当る)

嘉 姫 (撰政関白・鷹司家の姫)

(未調) 安永七年(二七七八)六月六日大湫宿泊り

国 姫 (大納言・烏丸資輔の姫)

水戸徳川治紀へ 天明元年(二七八二)三月二十五日大湫宿泊り

茂子姫 (島津重豪息女)

一二代將軍家斉へ 詳細不明

楽ノ宮 (有栖川宮職仁親王々女喬子)

一二代將軍家慶へ 文化元年(二八〇四)九月八日細久手宿泊り

継立人馬四千一二五人・三六七疋 御迎役松浦越前守・東条信濃守ら八月二十二日泊り上落道中

登美ノ宮(同 王女吉子)

水戸徳川斉昭へ 天保二年(一八三二)三月二十三日大湫宿泊り

大湫宿継立人馬二千一〇〇人・一五〇疋 道中一行四五〇人 長持二六棹

有 姫(関白・鷹司政熙の姫任子)

一三代将軍家定へ 天保二年(一八三二)九月一日大湫宿泊り

継立人馬四千五〇〇人・三四八疋 道中御一行八〇〇人 長持二〇〇樟(通人足四〇〇人)

福 姫(左大臣・近衛基前の姫)

尾州一二代斉温継妻へ 天保七年(一八三六)十一月下向 一六才 俊恭院

寿明 姫(関白・一条忠良の姫秀子)

一三代家定継妻へ 嘉永二年(一八四九)九月二十日細久手宿泊り

継立人馬五千三〇〇人・三五〇疋 女乗物一〇挺 長持二一棹 清水村へ四〇人三疋小田村へ九一人六疋触当有り

三月街道検分・八月普請検分 九月初宿割検分兼御迎役渡辺甲斐守上洛

五月十四日宿舎修理箇所御検分・六月十七日作事方御検分・七月十二日往還普請御検分・八月十一日御迎役石川左

近将監通行・会所ほか荷物置場・雪隠・人足囲所など名古屋桑名屋請にて出来る。道作り・砂入れ人足千六〇人(拾

両一分) 仮建屋など処分利益拾八兩余宿助成に下金さる。膳・椀・屏風など諸色は可児郡など尾州領村へ触当て

あり持参し請取りに参るなり 都合総計二五三兩二分は尾州様より下さるなり(笹屋七右衛門諸留記)

篤 姫(島津忠剛息女 本家島津斉彬養女 左大臣近衛忠熙養女)

一三代家定継妻へ 安政三年(一八五六)十二月興入 二〇才 道中頼木明 天彰院

鋭 姫(大納言・広幡基豊妹姫)

水戸徳川慶篤へ 安政五年(一八五八)四月十五日大湫宿泊り

継立人馬二千五五〇人・一〇二疋 道中御一行四六〇人御迎役継立人馬三八〇人・五〇疋

和ノ宮(仁孝天皇々女親子内親王)

一四代将軍家茂へ 文久元年(一八六一)十月二十八日大湫宿泊り

継立人馬二万八千二〇〇人・八一九疋 道中御一行約五千人 前後四日間の道中行列

十月二十日京都発興 二十五日間の道中で 十一月十五日江戸清水御殿入り 全道中での継立人馬は約七十万人・

二万疋と推定される世界でも類を見ない大行列・大継立なり(史料多数あり)。